



夢があるから 強くなる

学校教育目標：夢をもち ともに学び 思いやりあふれる 池田の子



池田小ブログ



にちにちこれこうにち

日々是好日～その日その時を精一杯生きる

校長

毎年8月になると広島や長崎に思いを馳せます。まして、今年は戦後80年の年です。終戦は遠い昔のように感じますが、私たちの身近にもその時代を力強く生き抜いた方がいます。先日、石嶺の さんから、戦時中の体験を伺いましたので紹介いたします。

さんは、小学6年生のときに終戦を迎えました。当時、石嶺地区には北海道から来た兵隊さんが駐留し、 さん宅にも「富田さん」という兵士が、家族のように出入りしていたそうです。当時、ラジオがあった さんのうちには兵隊さんたちが縁側に並んで腰かけて、ラジオを聞く姿が日常でした。ラジオから警報音が「ジャーン」と鳴ると、それが空襲警報や警報解除の合図でした。

石嶺地域からも、20人ほどが南方の戦地に向かい、戻ってこなかったそうです。「向こうの家も、こっちの家も、みんな戦死だった」と春吉さんは言います。

——戦地に向かう従兄を、歩いて宮ヶ浜まで見送ったこと。

——B29が開聞岳の方向から池田に向かって低空で畑の上を飛び、銃撃の音が響き渡ったこと。

——落下された爆弾が空中破裂して家の壁に当たり、後日その破片が簷の上に落ちていたこと。

——畑にアメリカ軍が落とした「銀紙」が散乱し、それを学校に持っていくと、電波妨害用のチャフだと知ったこと。空には探照灯が光を放ち、夜空を切り裂いていたこと。

——池田小学校の校庭では食糧難のためさつまいもが作られ、子供たちは畑の手入れをしたこと。当時の池田小の子供たちは、空腹と不安のなかで日々を過ごしていたのです。

今、私たちが過ごす毎日…家族と笑い、友だちと学び、季節の移ろいを楽しめるこの毎日が、どれほど尊いか。戦後80年となる節目のこの夏、子供たちには「平和なこの毎日が、かけがえのないものであること」を感じながら過ごしてほしいと願っています。

子供たちが安心して学校生活を送るために

先般、児童に対する教育者として許されない行為が報道されています。これらの犯罪を学校組織全体のことと受け止め、本校の児童が安心して過ごすために下記について取り組みます。

- 子供と二人きりになる状況を避け、複数で対応します。
- トイレ、更衣室等の密室等、第三者の目が届かない場所は極力排除し、盗撮・覗き・録音等の防止環境を整えます。
- 死角のない環境づくりを行い、日常的な施設点検を行います。
- 職員の私物で児童を撮影する行為は禁止します。
- SNS等による児童との私的なやり取りは禁止します。
- 安心して過ごせる学校にするためのアンケートを実施します。

良書に親しみ心豊かに～絵本「少年とクスノキ」から

戦争や事故、災害、病気などで、大事な人たちを失ってしまった少年は、生きることには希望を見出せず、未来を見せてくれる女神の化身を探す旅に出ます。女神が見せてくれた未来の少年は、十年後も二十年後もその先も女神の助けを求める旅を続けていました。

「人は誰もが、道を探し続ける。未来を知るよりも大切なことは『今がどうか』ということである」～終わった過去を悔やんでもまだ何も起きていない未来を案じて意味はなく『大切なのは今』であることに気付いた少年自身の中に明かりが灯り始めます。

感受性豊かな、限りある貴重な子供時代に良書に巡り会えば、一生を支える財産となります。子供たちが宝本に出会える夏になりますようお願いします。

★ イッシータイムでの米作りが始まりました!! ★

本校では、総合的な学習の時間「イッシータイム」において、3年生から6年生が食農教育の一環として米作りに取り組んでいます。例年、地域の さんや さんに御指導をいただいております。今年も大変お世話になっています。いつも温かい御協力、ありがとうございます。

6月13日（金）には、大変暑いなか「どろんピック」を開催しました。最初は田んぼに大量に発生した「ジャンボタニシ」に少しおどろいていた子供たちも、だんだん慣れてくると、泥んこになりながら、「鬼ごっこ」や「ドッジボール」を楽しんでいました。



そして6月25日（水）、いよいよ田植えを行いました。自分たちで代掻きをした田んぼに、1年生から6年生までが一株一株、心を込めて苗を植えました。特に初めて参加した1年生は、米作りのスタートということもあり、みんな真剣な表情で作業していました。

当日参加してくださった保護者の岩崎さん、森川さんにも、心より感謝申し上げます。

秋の収穫までには、草取りや水の管理など、様々な作業が待っています。子供たちの学びがより深まるよう、教職員も一緒になって米作りに取り組んでいきます。

★ 本をいただきました!! ★

堀切園の 様より、『少年とクスノキ』の絵本をいただきました。あたたかいお気持ちに感謝申し上げます。

☆東野圭吾・文／よしだるみ
・絵（実業之日本社、2025年5月1日刊、32頁）

☆東野圭吾さんらしい「希望のミステリー」



★ オクラ栽培出前授業がありました!! ★

7月11日（金）3校時、3・4年生が指宿市農政課の講師の方から、生産量日本一の指宿産オクラについて「IPM栽培のひみつ」や「収穫の仕方」など多くのことを学びました。学習を通して、児童は故郷・指宿に誇りと愛着を抱くようになりました。



【7月後半の主な行事】

- 21日（月）水難事故防止運動強調期間（～8/31）
- 22日（火）教育相談（～24日）
- 26日（土）市P連ニュースポーツ交歓会

【8月の主な行事】

- 1日（金）第2回西指宿中学校区小中一貫教育研修会（会場：池田小）※ 出校日なし
- 10日（日）校区六月灯（玖瑠神社）
- 12日（火）学校閉庁日（～15日（金））
- 21日（木）出校日（10:30下校）
※ 本年度は、21日のみ。



★ リフレッシュウィーク&学校閉庁日について ★

8月の主な行事予定でもあるように、指宿市教育委員会では、夏季休業期間に、「リフレッシュウィーク」及び「学校閉庁日」を設定しております。特に、8月12日（火）から15日（金）の4日間については、校内業務や電話対応を含む対外的な業務を行わない「学校閉庁日」となっております。この期間は学校に勤務者を置いておりませんので、校区の皆様の御理解をよろしくお願いいたします。



緊急

8月12日（火）～15日（金）の学校閉庁期間中に緊急で学校に連絡する必要がある場合は、指宿市教育委員会学校教育課（22-2111）まで御連絡ください。

「見付けた『池田っ子』いいね!!」



個別学習教室1組担任の岩川です。授業以外の時間にも、多くの児童が教室を訪れ、自由に学びや交流の場として活用しています。今日は、その中で心温まる場面を二つ紹介します。

ある昼休み、学習のやり直しに取り組んでいた児童が、解き方が分からず悩んでいました。すると、遊びに来ていた高学年の児童が足を止め、「何が分からない。教えようか。」と声を掛け、一緒に問題に向き合ってくれました。困っている友達に気づき、自然に手を差し伸べる姿から、思いやりの心が育っていることを感じ、とても嬉しくなりました。

また、掃除の時間には、担当の児童がほうきを使用後、掃除棚に戻す際に自分の分だけでなく、私の分まで丁寧に出し入れしてくれました。お礼を伝えると「これが普通だから分からなかった。」と笑顔で答えてくれ、普段から相手を思いやる行動が当たり前になっていることに感心しました。

子どもたちの思いやりあふれる行動は本校の誇りです。これからも温かな学習環境づくりに努めていきたいと思っています。

（文責： ）